

「後継者不在の木材プレカット事業者」と 「新たな技術獲得で事業を拡大したい建築業者」 との第三者承継が実現しました



熊本県商工会連合会では、全国共通の喫緊の課題である中小・小規模事業者の事業承継について、熊本県事業承継・引継ぎ支援センターや日本政策金融公庫と連携して強力に支援しています。

この度、山鹿市の(株)服部建設様が、主力の木材プレカット事業を菊池市の(株)郷原組様に事業譲渡され、8月24日(火)に山鹿商工会議所において調印式が行われました。

本会としても、各支援機関が連携して事業承継が実現したモデルケースとして捉えており、今後同じような後継者不在の悩みを抱える事業者の参考事例となることを期待します。

1 第三者承継までの経緯

(株)郷原組様は昭和50年2月に個人事業郷原建築として先代が創業。平成30年に現代取締役である郷原亮介氏が法人化、菊池市にて寺社仏閣や伝統工法住宅の建築工事を行う建築業を営まれています。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、競合他社との差別化として大径材を使った大仏様式など、付加価値の高い独自工法について力を入れていきたいと考えていました。

そのような中、同社が取り扱う手刻み工法に近いプレカットをされていた山鹿市の(株)服部建設様が代表者の高齢を理由に廃業されると聞き、現在同社の課題であった大径材の加工・保管場所の確保につなげることができると考え、事業譲受を(株)服部建設様に申し込まれました。

今回の事業譲受により、課題であった設備の取得により今後多くの受注が可能になることはもとより、県内プレカット事業の先駆者であった(株)服部建設様の技術を習得することで、取引先600社の引き継ぎや、完全手刻みで行っていた同社材料プレカットを高い精度で迅速に行えるようになり、生産性の向上にも大きな期待ができることとです。



2 菊池市商工会へ相談して

(株)郷原組 代表取締役 郷原亮介氏
事業承継について、具体的にどのように進めていかわからなかったが、日ごろから接点がある商工会に気軽に相談して事業譲受を行うことができとても良かった。また、日本政策金融公庫への譲受資金の融資相談について、商工会に事業計画などの策定支援をうけ融資実行にも活かすことができた。これから事業譲受を考えていらっしゃる方は、是非商工会に相談してほしいです。



3 担当経営指導員の所感

菊池市商工会 奈田真史 経営指導員



菊池市商工会では、(株)郷原組様から事業承継について相談を受け、県連特任支援課並びに熊本県事業承継・引継ぎ支援センターと一緒に支援に取り組んできました。その結果、今回の「第三者承継による事業譲受」が無事に成立しました。ご相談いただくことから、事業承継への第一歩が踏み出せます。商工会としましては、これからも事業所に寄り添った丁寧な支援を行います。